

令和4年度白川・東白川地域公共交通計画策定事業の見直しについて

(委員の意見をもとに朱書き箇所を修正)

■ 理由

平成30年度に策定した「白川・東白川地域公共交通網形成計画」の検証と適切な評価を行い新たな地域公共交通計画の策定に向けた事業を実施してきましたが、新型コロナウイルス感染症の拡大等を受け、十分な調査・検証が行えなかったため下記のとおり一部の事業と計画の策定を次年度に繰り越すこととしたい。また、病院バスをはじめとした地域内輸送資源を持つ関係者との「共創」についても次期計画に盛り込むため調査するものとする。

■ 内容

1. 地域内公共交通に関する現状の把握

当初計画 予約制バスの予約データ等から利用目的や頻度といった利用実態を把握するとともに路線バスとの乗継利用の実態を調査・把握する。

見直し案 病院バスとの統合に向けた佐見地区の病院バス利用実態調査を実施（令和4年6月）
名古屋大学によるバス乗車調査を実施（令和4年11月10日～11日）

2. 利用者、住民懇談会による利用状況やニーズの調査

当初計画 各地域部会と連携して利用者、住民懇談会を開催し利用状況やニーズの確認のほか移動環境の変化等について把握する。

- (1) 17月～18月 白川町内5地区、東白川村（全6会場）
- (2) 11月～12月 〃

見直し案 病院バス統合に向けた佐見地区住民懇談会を実施（令和4年5月15日）
各地区懇談会は令和5年度に実施する

3. 利用者、住民アンケート調査

当初計画 利用者、住民を対象に移動環境や利用状況、公共交通に対する意見等を把握するためアンケート調査を実施する。

- (1) 予約制バス利用登録者 1,000人
- (2) 町村内65歳以上及び高校生から抽出 1,200人
- (3) 町村内高校生全員を対象にwebアンケート 250人

見直し案 今年度未実施 令和5年度に実施する

4. 公共交通の評価と課題の整理

当初計画 懇談会、アンケート調査結果等をもとに現計画の評価と課題の整理を行う。

見直し案 バス乗車調査による評価と課題整理を行う
懇談会、アンケート調査結果による評価と課題の整理は令和5年度に実施する

5. 地域公共交通計画（案）のとりまとめ

当初計画 現計画の評価と課題に対する方針に加え、懇談会、ワークショップでの提案等から地域の特性に合わせた持続可能なものとする地域公共交通計画をとりまとめる

見直し案 令和5年度に計画としてとりまとめる

6. 協議会等の開催

当初計画 懇談会、アンケート調査等の結果を受けて今後の公共交通のあり方、取り組むべき事業について協議をする。

- ・協議会 6月 計画策定スケジュール、支援業務委託内容の協議
8月 懇談会の報告、アンケート調査実施方法の協議
12月 計画素案の協議
3月 計画最終案の協議
- ・幹事会 10月 評価と課題の整理
11月 計画素案の作成
1月 素案の修正、パブリックコメント用計画案の作成

見直し案

- ・協議会 6月24日 計画策定スケジュール、支援業務の協議
8月2日 病院バス統合案の協議、運送区域の見直し
1月13日 計画策定スケジュールの見直し（書面開催）
3月 現計画の延長、令和4年度計画策定事業の報告（予定）
- ・幹事会 7月13日 病院バス統合に対応した運行案の作成

※協議会、幹事会とも計画策定事業の進捗に合わせ開催する

地域公共交通確保維持改善事業・事業評価(計画策定に係る事業)

(委員の意見をもとに朱書き箇所を修正)

令和5年1月20日

協議会名: 白川・東白川地域公共交通活性化協議会

①事業の結果概要	②事業実施の適切性	③生活交通確保維持改善計画又は 地域公共交通網形成計画等の計画策定に向けた方針
【事業内容及び結果概要を記載】	A・B・C 評価	【補助申請を行う補助対象事業名、事業内容、実施時期等を記載】
1.地域内公共交通に関する状況の把握 ・ <u>病院バス統合に向けた佐見地区病院バス利用実態の確認</u> ・乗車調査による運行状況、利用実態の確認(令和4年11月10日～11日)	A	【補助対象事業名】 白川・東白川地域公共交通計画策定調査事業
2.利用者、住民懇談会による利用状況 ・新型コロナウイルス感染症の拡大により <u>各地区懇談会を中止</u> ・ <u>病院バスを統合する地区のみ利用者懇談会を開催</u> (各地区懇談会は令和5年度実施予定)	B	【事業内容】 地域の現状や利用実態を把握し、移動ニーズに対応する効率的な公共交通サービスを実現するための地域公共交通計画の策定 【実施時期】 令和4年5月20日～令和5年3月31日
3.利用者、住民アンケート調査 ・利用者、住民懇談で把握した内容を元にアンケートを予定していたため未実施(令和5年度実施予定)	C	【計画策定に向けた方針】 交通事業者だけでは地域全体の公共交通を担うことができないため、町営自家用有償旅客運送の他、病院バスをはじめとする多様な移動手段と連携し、将来にわたり持続可能なまちづくりの礎となる公共交通を目指す。
4.公共交通の評価と課題の整理 ・乗車調査による運行状況等の評価と課題の整理 ・懇談会、アンケート調査結果をもとに行う現計画の評価と課題の整理は未実施(令和5年度実施予定)	B	
5.地域公共交通計画(案)のとりまとめ(令和5年度実施予定)	C	調査や課題の整理が不十分なため、令和5年度に繰り越す予定。
6.協議会、幹事会の開催 ・協議会 6月、8月、1月(書面)、3月(予定) ・幹事会 7月 (計画作成事業に合わせ、令和5年度開催予定)	B	<u>懇談会での意見をもとに、幹事会で作成した病院バス統合後の運行案を協議会にて協議した。</u> 懇談会、アンケート調査の分析、課題の整理を行う幹事会を中止とした。

事業実施と生活交通確保維持改善計画との関連について

(委員の意見をもとに朱書き箇所を修正)

令和5年1月20日

協議会名:	白川・東白川地域公共交通活性化協議会
-------	--------------------

評価対象事業名:	地域公共交通調査事業(計画策定事業)
----------	--------------------

地域の交通の目指す姿 (事業実施の目的・必要性)	<p>依然として厳しい状況にある担い手不足によって交通事業者だけでは地域全体の公共交通を担うことができないため、引き続き町村自家用有償運送に取り組み地域全体をカバーするネットワークを形成しつつ、重複区間が残る病院バスの公共交通への統合、福祉有償運送との連携により地域全体として効率的な運営を図るとともに住民、利用者の公共交通に対する意識の向上に取り組むことで将来にわたり持続可能なまちづくりの礎となる公共交通を目指す。</p> <p>また、計画の策定にあたっては、地域が主体的に関わる公共交通とするため、各地域の運営組織と協力し住民懇談会、利用者ワークショップ、アンケート調査・分析を行い、地域に必要とされる公共交通のあり方とそのために関係団体による事業も含め取り組むべき内容を計画に盛り込む。</p>
-----------------------------	---